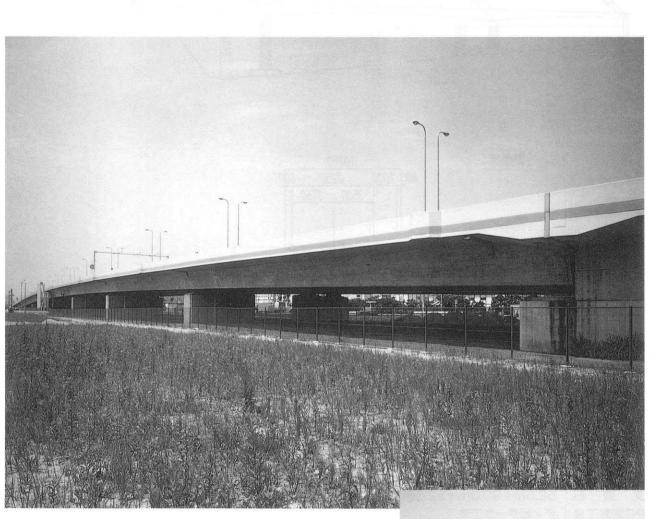


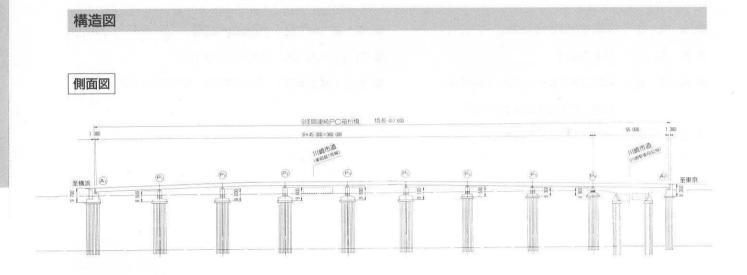
- 発注者:首都高速道路公団
   設計者:(基本)新構造技術 (詳細)施工者
- 橋梁形式:9径間連続桁橋
  橋長×幅員:417.6m×14.3m(上・下線)
  着工・竣工年月:1991年11月~1994年3月
- 施 工 者: 住友, 興和, 日本鋼弦JV
- 工事場所: 神奈川県川崎市



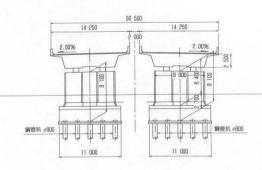
## ■キーワード

 ●鉛プラグ入り積層ゴム支承(LRB支承)を使用した免震橋
 ●完成後のクリープ・乾燥収縮による影響を除去する「後ひずみ調 節機構」付き支承を開発
 ●側径間ではピロン柱併用の張出し工法









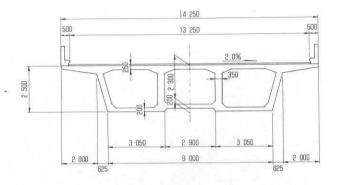
構造諸元	
用 途:	道路橋(一等橋 TL-20、TT-43)
支 間 割:	8@45.0m+55.0m
PC定着工法:	ディビダーク工法、SEEE工法(架設斜材)
架設補助工法:	ピロン併用張出し架設

## 文献等

●橋梁(1994.9) ●コンクリート工学(1994.5) ●土木技術(1993.8) ●プレストレストコンクリート(1994.10)他

## 桁橋(連続桁橋)

## 主桁断面図



54